

弥彦村社教だより

平成31年 2月20日 NO.13

弥彦村社会教育委員の会

《31年度への提言》

1月29日（火）に第8回の社会教育委員の会を開催し、平成30年度の振り返りをしました。今年度は、県社会教育研究大会での発表があり、充実した活動を展開することができました。最初に、その大会の参加者アンケートを基に振り返りました。アンケートのまとめは以下の通りです。

（発表内容について）

すばらしい活動内容だと思った。23 具体的な発表で分かりやすかった。19
参考になった。7 楽しい発表だった。 資料、写真が見にくかった。

（分科会の運営について）

無駄のない時間配分が良かった。13
参加者全員が意見を出せるグループ協議の方法が良かった。6
グループ協議の発表時間が足りない。3 グループ協議の時間が足りない。
分科会要項の内容が良く、グループ協議がスムーズに進んだ。
グループ協議の司会者、記録者の事前説明が不十分だった。

（その他）

ネットワークの大切さが再認識できた。
年を追うごとに取り組みがよくなっていて素晴らしい。
委員の労力をかけ、努力されている姿が見える。
交流会でリハーサルをしたのは良いことだと思う。
リーダーを先頭にうらやましい。
村の社会教育事業において行政側はどういうことを目指しているのか、
また、社会教育委員とどう連携しているのか知りたいと思った。

その後、委員で意見を出し合い、今年度の活動を反省し、次年度への提言を作成しました。内容は以下の通りですが、3月5日（火）に行われる教育委員との懇談会で発表することになっています。

平成30年度の成果

- 1 県社教大会に向けて協力して活動でき、委員の力がついた。
- 2 新事業（PR動画コンクール）の立ち上げに協力できた。
- 3 交流会が定着してきた。
- 4 委員が個々の力を発揮し、チームワークが向上した。

平成30年度の課題

- 1 ネットワークを活用した事業の協働を推進する。
- 2 活動の役割分担を明確にする。
- 3 今後、委員の会での引継ぎを着実にを行う。

- 4 余裕をもった計画推進で、事業を継続させる。
- 5 社教だよりに村民の声を掲載する。

平成31年度への提言

- 1 社会教育事業の見直し
 - (1) 文化会館小ホールを活用した公演会などの実施
 - (2) 高齢者を対象としたニーズを調査する。
- 2 P R 動画実行委員会への補助、上映場所を検討する。
- 3 担当行政職員の継続を要望する。

(文責 堀)

●●● つながれ想い人 ●●●

今回より、社教だよりに新しいコーナーを設けました。社会教育委員から情報を発信するだけでなく、村民の皆さんから弥彦村についての様々な想いや地域の情報などお寄せいただき、一人でも多くの村民の皆さんに興味を持って読んでもらえる社教だよりにしたいと考えました。また、このコーナーはリレー形式で、次の執筆者をご紹介いただくことで、皆さんの想いをつないでいけたらと思っています。

(文責 本間)

第1回目の『つながれ想い人』は、神田友紀子さんです。

私は弥彦おかみ会に所属しています。弥彦おかみ会は、年間を通して活動しており、メンバーは11人、和気あいあいと楽しくやっております。おもな活動内容は、プランターのお花の植え替えやオリジナルグッズの企画・販売、あとは月例会で集まり、いろいろな事を話し合うことです。その他にも季節を彩る活動として、七夕には竹を設置し飾り付け、短冊に村内の子供たちや宿にお泊まりの観光客、みんなの願いを書いていただく活動や、お正月に各店舗に弥彦名産の玉兎を繭玉に見立てて飾り付ける活動等も行っております。年に1度、研修会も開催し、流行のお店や観光地にメンバーで出かけたりもします。こんな感じで私はいろいろな事に参加させていただきました。



おかみ会発案

オリジナルグッズ

私がこの会に参加したきっかけは、弥彦でおかみ会を立ち上げるときに誘われただけのことなのですが、そのおかげでたくさんの人に出会えることができ感謝しています。私は県外からここに嫁いで来ましたので、その当時は知人も少なく、生活や仕事をしている中でなかなか話や相談をする相手がいなかったのです。しかし自分と同じような境遇の仲間や先輩と知り合い、話したりいろいろと相談をする機会ができました。企画や行事を通し

てたくさんの方々にお世話になりました。これまでの経験を大切にして、これからも何か弥彦村にお役に立てるように頑張っていきたいと思います。

《地域からの情報・・婚活》

「やひこ縁結びプロジェクト」の一員として、イベントのお手伝いをして来ました♡

始まりは、平成29年9月30日に開催した「第3回地域づくり交流会」にて、グループ協議を行った際に、同じ班になった「やひこ縁結びプロジェクト」の立ち上げ人である弥彦村役場・福祉保健課の富田さんとの出会いでした。社会教育委員になったばかりで、「大好きな弥彦村のために何かしたいけど、いったい何が出来るのだろうか…」と、模索中だった私に、富田さんよりお声掛けいただき、メンバーの一員として、参加させてもらうことになりました。



「お寺 DE 縁結び」の一コマ

平成30年9月には矢作・法圓寺主催の「お寺 DE 縁結び」、同年10月には燕市との共催事業「ゴールデンルートで結ぶ燕・弥彦独身社員交流バスツアー」の二つの婚活イベントが開催されました。都合によりバスツアーの方には参加できませんでしたが、「お寺 DE 縁結び」のお手伝いをさせていただきました。

会場がお寺ということで、落ち着いた雰囲気、参加女性は安心して参加できたのではないのでしょうか。本堂では副住職のありがたい法話や、参加者同士の自己紹介 TIME、自分自身の本質を知る事ができるディグラム診断が行われ、その後、お寺の敷地内にてBBQを楽しんでもらいました。主催の法圓寺様も、私たち STAFF も、初めての試みで、不慣れなために、参加者の皆様には行き届かない点もあったと思います。しかし、アンケートの「また是非やって欲しい。」等の声に嬉しくなりました。当日、その場でのカップリングは行わず、女性の名前が書かれた封筒に男性が連絡先を入れ、女性の方から連絡をとりたい方にはしてもらおう。という方法で、「人前で告白するのは恥ずかしい…」という人にも安心できたのではないのでしょうか。

後日、法圓寺様からの連絡によりますと2組のカップルができたそうです。私が富田さんに出会えた事で、また新しい事業へのお手伝いできた事…。これも社会教育委員になったことで得る事ができた一期一会だと思っています。そんな素敵な一期一会のお手伝いにこれからも携わっていけたら幸せです。

(文責 那須)

《社会教育委員を募集します》

弥彦村では、以前、公民館を中心とした社会教育的活動が盛んに行われた時期がありました。その後、様々な理由で活動が停止、縮小していきました。全国でも、同じような傾向が見られ、それと軌を一にするように社会的な問題が噴出するようになりました。この問題を解決するために、地域の活動を見直す機運が全国的に高まりました。

弥彦村の社会教育委員も、このことを重要視し、地域づくりのための活動を盛り上げる決意をして、具体的に取り組んでいます。具体的には以下の通りです。

(役割)・・・「社会教育法」で、市町村に「社会教育委員」を設置できると規定

- 第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため次の職務を行う
- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
 - 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
 - 三 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(研修)・・・社会教育委員としての資質を高めるための研修を実施する。

①社会教育委員の会で情報を持ち寄っての研修 ②各種研修会への参加

(社会教育委員の会)・・・自主的開催で(1時間程度の会を年間5回程度実施)

(会の目的)・・・社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に関する提言、社会教育事業等への参加等を通して、社会教育の振興や生涯学習の推進を図る弥彦村の進むべき方向を示す。

平成31年度の社会教育委員を募集します。2年間の任期です。「社会教育に興味がある」「弥彦村を元気づけたい」「地域貢献に興味がある」「活動を通じて仲間作りをしたい」など、興味をお持ちの方は、下記連絡先か、各委員に相談ください。

委員長	堀 隆行 (弥彦中学校長)	副委員長	平井 茂人 (村山)
委員	本多 隆峰 (麓一区)	委員	柏原 路子 (麓二区)
委員	丸山 浩 (弥彦)	委員	本間 美幸 (弥彦)
委員	那須 裕美子 (川崎)	事務局	本多 正 (教育課)

※ ご意見のある方は、近くの委員、もしくは中学校、教育委員会事務局にお電話ください。(中学校94-2101 事務局94-1021)